

## 第1回 広陵町政策推進審議会 B部会 議事要旨

I 開催日時 令和7年11月6日(木) 午前9時00分から午前10時40分まで

II 開催場所 広陵町役場3階 大会議室

III 出席者

<委員> 4人

岡野委員、杉本(洋)委員、藤山委員、渡辺委員

<担当課> 12人

けんこう推進課長

教育総務課主幹

生涯学習課長

生涯学習課主幹

安全安心課長

都市整備課長

協働のまちづくり推進課係長

介護福祉課課長補佐

社会福祉課長

保険年金課長

図書館長

スポーツ振興課長

<事務局> 5人

総合政策課 芝課長、岡崎、河井

フォーティエンスコンサルティング株式会社 高橋、虻川

IV 次第

1 開会

2 部会長の選出

3 議事

(1) 前期基本計画における指標達成状況について

(2) 住民アンケート結果について

4 その他

5 閉会

<配布資料>

資料 1：前期基本計画における指標達成状況(基本目標3、4、5)

資料 2：広陵町住民アンケート調査報告書

参考資料：広陵町政策推進審議会設置条例

## V 議事内容

### 1 開会

### 2 部会長の選出

○岡野部会長を選出

### 3 議事

#### (1) 前期基本計画における指標達成状況について①

○事務局から前期基本計画における指標達成状況（基本目標3）（資料1）について説明

【資料・説明を踏まえた質疑応答】

（A委員）

まず1ページの出生率について数値目標よりも低くなっているという状況だが、町の役場として何を実行していくための目標なのかを確認していきたいというのが一点である。

二点目は低年齢層の待機児童が課題感はあるものの、今後の施設拡充で解消されると思うが、核家族化が進む中で待機児童を減らすだけで良いのか、地域としての見守り等を指標の中に入れても良いのかと思った。

6ページの給食についてだが中学校の残食率について両方向上しているように見え、二校の平均で報告されているが、二校の特徴があると思われるし、小学校の残食率も指標の中に入れていかななくてはならないかと思う。

（事務局）

まず、出生率を指標として使用している理由についてだが、全体的なまちの状況を示すためとなっている。第5次総合計画はまち・ひと・しごと総合戦略に則っているが総合戦略の中に地方創生1.0で東京の一極集中是正と出生率改善というものがあり、出生率単独値で測れるものではないという議論はあったのだが戦略の中の指標としてあったため入れさせていただいているという形になる。

低年齢層の子どもへの支援についてはこども課が本日出席できていないため、地域見守りも含めて持ち帰らせていただいて次回回答でも良いか。

（A委員）

問題ない。

⇒（担当課回答）低年齢層の子どもについては、核家族化や保護者の多様化する就労形態に対応するため、一時預かり保育事業や子育て短期支援事業などの支援を行っており、関連指標を置いているところである。

(担当課)

中学校の残食率について、小中合わせた残食率を導入した方が良いのではないかと  
いうことだったが、給食無償化に合わせて検討する必要があると思うため検討させて  
いただく。

(B 委員)

学校教育の充実について、空調の体育館への設置が令和 8 年度となっているが、今  
年の夏が既に非常に暑かったこともあり、体育館の空調の設置を早急をお願いした  
い。

(担当課)

体育館の空調についてだが、取り組んでいかななくてはならないということになって  
いる。令和 8 年度中で設置できるよう取り組んでいる。なるべく早急に設置させてい  
ただきたいと考えているが、拙速となってしまつては問題があるため、適切になるべ  
く早急に行わせていただけたらと思う。

(C 委員)

こどもまんなか社会で町のことを考える中学生と高校生のワークショップがあつた  
と思う。子どもの意見表明権ということで行われていたと思うのだが、それを具体的  
に表す必要があると思う。その際にワークショップの実施回数のような指標として良  
いのかということ伺いたい。

スマートフォンの使用等について愛知県で話題になっていたスマートフォンの使用  
に関する条例があるが、広陵町は条例として対応するのかどうか、どのように捉えて  
いるのかということ伺いたい。

(担当課)

町のことを考える中学生及び高校生のワークショップということで令和 6 年度は全  
校で実施したが、まちづくりと聞いて思い浮かべるものとしてはライフライン系、清  
掃活動が思い浮かびやすいのだが、地域の人のためにすることもまちづくりだとい  
うことを自治基本条例に基づいて出前授業を実施している。

(担当課)

コロナ禍でスマートフォンの使用に関してルールを設けるということも実施してい  
るが、学校ごとのアンケートから使用時間が伸びているところが多いと考えている。  
その部分のルール作りが学校の方で必要があるとは考えているが、条例等の制定ま  
では考えていない。生徒指導の分野において対応するものと考えている。

(D 委員)

全体に関わる部分ではあるのだが、達成状況についてこの表記で良いのかという問  
題があるかと思う。指標にもよるが、0 が 1 になることは非常の大きなことだが、そ

れでただのマルとなる一方、0.1 下がるのは誤差であると思うが、それでバツというのは適切ではないのではないかと思う。

また、学校での事故件数が増えているのが、コロナ禍が明けたからという分析となっているが、もう少し丁寧な分析が必要かと思う。また、目指す方向が下となっているが、減らすという意味での下矢印か。

(事務局)

今回資料として作成した部分について説明させていただく。前期基本計画で達成しているものをそれに基づく達成状況という形で、マルバツで説明させていただいている。資料の見せ方としてマルバツで表記しているが、A 部会でも 12 年間で達成していく施策群も含んでいるためマルバツは適切ではないのではないかという話が出ていたため、公開する際には適切な形を検討した上で公表することとしたい。

(担当課)

事故件数を減らすという意味での下矢印で合っている。指標の方はスポーツ振興センターの事故報告、保険の申請件数を用いて数字をとっている。令和 2 年度は 3 月から学校休校があったため基準値として非常に低いものとなっていたというように思う。令和元年度の確認ができていないため、その確認をしたら同じくらいになっているのかと思う。現状が今後基準値になるかとは思う。

(D 委員)

令和元年度についても分析等に入れていただけると非常に助かる。

ほかに何かあるか。なければ次の基本目標 4 について事務局から説明願う。

(委員一同)

了解。

## (1) 前期基本計画における指標達成状況について②

○事務局から前期基本計画における指標達成状況（基本目標 4）（資料 1）について説明

【資料・説明を踏まえた質疑応答】

(C 委員)

障がい者に対するサービスを提供する事業所数が増えているところは良いのだが、中身について重度の障がい者にサービスを提供するところがあるのかというような指標は検討されているのかをお伺いしたい。

また、草の根的な活動をしている団体が増えているというが、具体的にどのような活動であるのか聞かせていただければ嬉しい。

(担当課)

まず本町の障がい児の特徴として、医療的ケアが必要なお子様が多いという特徴がある。保護者の負担軽減のために誘致できるよう取組として事業所の設立を検討しており、一か所本町に設置をしても良いという事業所があったため協議を行ったが、地域の方からの反対があったため、他市で開設されてしまったということがあった。重度障がいのお子さんを預かっているところは少なく、実際、町内にはない状態になっている。そのため他市の事業所を利用させていただいているという状況となっている。

(D 委員)

今の説明のような内容を分析として書いていただきたい。草の根の活動についてはどうか。

(担当課)

ボランティア登録している個人は減っている。ボランティアは定年退職されている方が多い。自分の趣味に興じたいという方も多く、年齢も上がってきたため減少しているのかと思う。草の根という表現は不適切だったとは思いますが、登録されているボランティア以外の活動としてゴミ拾いや地域のお子様見守り等があるのかと思う。

(D 委員)

ほかに何かあるか。なければ次の基本目標5について事務局から説明願う。

(委員一同)

了解。

### (1) 前期基本計画における指標達成状況について③

○事務局から前期基本計画における指標達成状況（基本目標5）（資料1）について説明

【資料・説明を踏まえた質疑応答】

(A 委員)

基本目標5については力を入れていただいております、在来地域を含むため男女参画というのはハードルが高いと思うがPRや研鑽の機会をたくさん作っていただき、改善していける場を作っていただければと思う。

(C 委員)

男女共同参画社会の展開方向3としては、指標として過去のデータを単純比較できないという話もあったが、指標としてふさわしくないと考えている。むしろ男女共同参画社会の進展という観点では夫婦で協力して社会を作っていくというような指標を設定するのが良いかと考える。減らしていくという観点では現状の指標でも良いのかと思うが、指標としてはマイナスで適切なのかと思った。

また、公民館で活動する育成クラブというのはどういう活動をする育成クラブなのかを聞かせていただければと思う。

(D 委員)

時間の都合上、指標の方は持ち帰って検討いただくこととしたい。育成クラブについていかがか。

⇒ (担当課回答) 指標について、個別計画に当該指標を置いていることからこの指標としている。個別計画の改訂の際に改めて検討したい。

(担当課)

育成クラブは、公民館で文化に関することを営んでいる任意の団体で、それぞれ様々な活動を行っている。現在 53 団体ある。具体的には音楽団体、コーラス、写真等。最近減少傾向である。最大 64 団体、824 名だったが現在は 524 名となっている。公民館運営審議会が開催できていないために減少していると考えているが、今年度は開催したいと考えている。

(D 委員)

私から全体的なところでの意見をさせていただく。展開方向という言葉になっているため、少し抽象的になっているところがあり、実施内容、展開方法というように具体的に書かれても良いかと思った。

コロナ禍という特殊事情があったため前年度のデータを載せるという工夫は必要なのかと思った。

ほかに何かあるか。なければ住民アンケート結果について事務局から説明願う。

(委員一同)

了解。

## (2) 住民アンケート結果について

○事務局から住民アンケート結果(資料2)について説明

【資料・説明を踏まえた質疑応答】

(C 委員)

先ほどあった第一象限、第二象限について単純な確認なのだが、第一象限の部分にある程度政策のターゲットを定めるということで良いのか。

(事務局)

前期基本計画から大きく変わっているものは、もう少し詳細な分析が必要かと思っている。第一象限から第二象限に移動したものも施策として行っているが、成果が出ていないというところがあるかと思うため注視していきたいと思う。町長の施策目標についてもある程度は網羅的となっているが、不足している部分についてはこの辺の

象限分析を元にどう結び付けて表現するかというのが課題となるのだが、委員の皆様にも専門的な知見から意見をいただきたいと思っている。

(B 委員)

今年国勢調査員として調査を行ったが、デジタルで回答された方は前回に比べて圧倒的に増えている。高齢の方は無理だといっていたがこんなに簡単だと行政が周知する必要もあるかと思う。LINE や直接説明する等のやり方があると思う。分からないという項目の回答が多いなと感じたのだが、アンケートの項目で欧米は2択、日本では5択3択にしないでならないという話もあるがその部分はどのように考えているか。

(事務局)

前回の調査では「わからない」という選択肢が最後にあったが、今回の調査では真ん中に入れたため、どちらでもないという意味で回答された方が混ざっているのかと思う。選択肢についてだが、海外でもマーケティング的な部分では五つ又は七つの選択肢を設定している。ただ前回よりも「わからない」と回答された割合は減っている。また、前は無回答や回答内容不明の回答は省いて集計を行っていたのだが、今回はそのような回答も一つの回答だということで集計に入れている。

(D 委員)

まちの魅力の部分において「買い物が便利でよい」というのが3番目にあるが、働く場所が整っているがほとんどないという形になっている。また、「住みたい」が「住みたくない」を大きく上回っている一方、「住みたくない」という方が3.2%おられ、買い物が不便であるという回答が多くなっていることが、在来地域の方が買い物等に困っているという状況があるのかと思った。

(事務局)

現在地域別のクロス集計を行っているため今度そちらの方もお見せしたいと考えている。全般的に定住意向が高いというのが前提ではある。ただ3.2%の定住意向の低い方が、ご指摘のとおり自由記入欄に買い物場所が家から遠いというような記述をしているという形になる。その方々だと思われるがその部分も表にして今度お見せしたいと思う。

(D 委員)

承知した。広陵町の場合、エリアの情報が重要かと思うためよろしく願います。ほかに何かあるか。なければ次第の4について事務局から説明願う。

(委員一同)

了解。

#### 4 その他

- ・議事要旨及び資料の公表について
- ・次回以降の日程について（12月1日月曜日午後3時から）
- ・行政評価に係る部会について（1月中又は2月中旬以降に実施予定）

#### 5 閉会

（以上）